

橋本關雪

はしむね
くわんせつ

日本畫家。

明治十七年十一月十日兵庫縣生れ、昭和

二十年一月二十六日歿（八三—一九四）。本名關一、字士道、幼名成帝。

別號夢白軒主人、瀾雪、白沙村人、關雪散人、關雪散史、關雪散士、

關雪散客、關雪散氏、頑拙道人。父橋本海關、漢學者、竹内栖鳳等、

日本畫、學ぶ。大正八年帝展審査員、昭和九年帝室校藝員、翌年帝國

藝術院會員。

著書『關雪散氏畫集』全二冊（兵庫縣關雪會編、大正七年二月十一日

京都・興宮齋刊）、『如是我觀帖』（上田竹次郎編、大正七年十一月

二十日京都・田辺駒次郎刊）、『關雪隨筆』（大正十四年十月二十五

日中央美術社）、『走井』（内題「逢坂走井由縁記」夢白軒主人名、

昭和七年七月二十一日京都刊）、『不離心帖』（編、昭和八年四月十

二日京都・自刊）、『^{精神}興揚國民百人一首』（白沙村人名、編、昭和十

二年八月十五日京都・自刊）、『大陸戰史一画と文』（合著・陸軍省

報道部編、昭和十七年二月十日陸軍省報社）、『食り（こゝろ）』（合著

・宮崎小次郎編、昭和十七年二月十五日京都・晃文社）、『白沙村人

隨筆』（橋本節哉編、昭和五十二年八月二十日中央公論社）等。

